



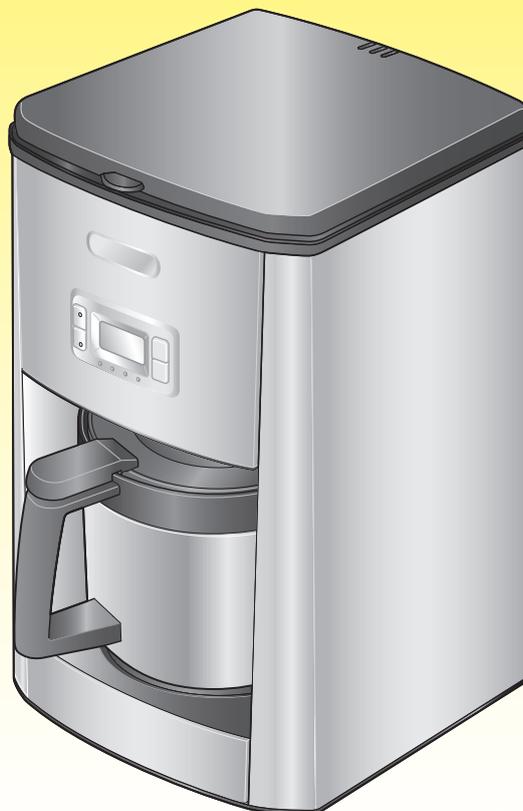
Living innovation

# デロンギ 保温ポット付ドリップコーヒーメーカー

# 取扱説明書

## 型式番号 CMT560E-S

家庭用



MADE IN CHINA

## 特長

- **アロマ機能**  
コーヒーの抽出がゆっくり行われ、コーヒーのアロマがより引き出されます。
- **プログラムタイマー**  
予約した時間に、自動的にコーヒーが抽出されます。
- **コーヒー鮮度 (FRESHNESS) インジケーター**  
コーヒー抽出後の経過時間を 15 分間隔でランプと音でお知らせします (最大 60 分)。飲み頃がひと目でわかる親切設計です。
- **自動電源オフ**  
コーヒー抽出後に、自動的にヒーターの電源が切れます。
- **大容量の二重真空ステンレスポット**  
抽出したコーヒーは、そのままステンレス製の保温ポット (二重真空保温式) で保温します。1.8L の大容量なので、多人数分の抽出にも最適です。

## もくじ

安全上のご注意 .....	1 ~ 3
仕様 .....	4
各部の名称とはたらき .....	5 ~ 6
初めてお使いになる前に .....	7
知っておいていただきたいこと .....	8
コーヒーの抽出 .....	9 ~ 10
タイマーを使用したコーヒー抽出 (タイマー抽出) .....	11
お手入れ .....	12 ~ 13
故障かな? .....	14
アフターサービスについて .....	裏表紙

このたびは、デロンギ 保温ポット付ドリップコーヒーメーカー CMT560E-S をお求めいただき、誠にありがとうございました。本製品を正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

# 安全上のご注意

各注意事項を、必ずお守りください。

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「警告」「注意」の2つに分け、明示しています。



## 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



## 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

4. 各注意事項には、「禁止」または「強制」を促す絵表示が付いています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



：禁止



：接触禁止



：水ぬれ禁止



：分解禁止



：ぬれ手禁止



：風呂・シャワー室での使用禁止

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



：指示を守る



：電源プラグを抜く



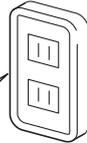
## 警告

### 電源／コンセントについて



電源は交流 100V (50/60Hz) で「15A 125V」と記されている壁面のコンセントに直接差し込む  
火災・感電の原因。

15A 125V



コンセントは本製品だけ（単独）で使用する他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して、発火するおそれ。



取り付けの悪いコンセントは絶対に使わない  
感電や発熱のおそれ。



延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは絶対に使わない  
コンセントや電源プラグ／電源コードが異常発熱し、発火するおそれ。

### 電源プラグ／電源コードについて



電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除く  
火災の原因。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない  
感電やけがをするおそれ。



# 警告

## 電源プラグ／電源コードについて



電源プラグ／電源コードが異常発熱している場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

使用中に、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる場合は、直ちに電源を切り、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）に相談する。  
ショートや発火するおそれ。



電源コードは破損したまま使用しない。また、電源コードを傷つけない（加工する・無理に曲げる・引っ張る・ねじる・束ねる・重い物を載せる・挟み込むなど）

電源コードが破損している場合は、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）に相談する。  
感電、火災の原因。



電源プラグは、根元までしっかりと差し込む  
感電・ショート・発煙・発火のおそれ。

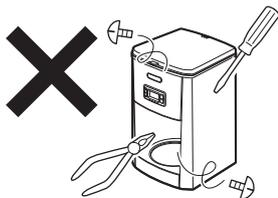


動作中に電源プラグを抜き差ししない  
感電、火災の原因。

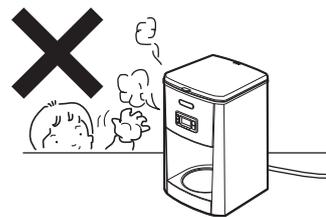
## 使用中／使用後について



自分で絶対に分解・修理・改造は行わない  
故障や発火のおそれ。



子供だけで使わせたり、幼児の手が届くところで使用しない  
やけど・感電・けがをするおそれ。



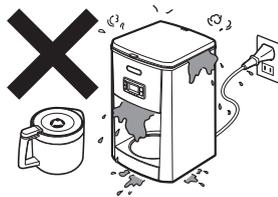
異常が生じた場合は、使用を中止する  
万一、異常が生じた場合は、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）まで連絡する。  
事故や故障の原因。



コーヒー抽出中はふたの蒸気口から高温の蒸気（湯気）が出てくるので、絶対に顔や手を近づけたり、ふさがない  
また、台座周辺、保湿ポットおよびフィルターホルダー先端のドリッパーも高温になるので注意する。  
やけどをするおそれ。



コーヒーを抽出する際は、保温ポットのふたが正しくしっかりと閉められていることを確認し、台座の中央に乗せる  
抽出したコーヒーが溢れ出て、やけど・感電・けが・故障の原因。



絶対に他の用途や屋外で使用しない。家庭用として使用し、業務用として使用しない  
故障の原因。

## ⚠ 注意

### 電源について



ブレーカーが落ちる場合には、電力会社に連絡する  
使用中にブレーカー（分電盤内の回路遮断器）が落ちる場合には、電力会社に相談する。



### 電源プラグ／電源コードについて



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く  
感電やショートして発火するおそれ。



使用中は、電源コードを本体に触れさせない  
熱で電源コードが傷み、感電やショートの原因。

### 設置場所について



本体は不安定なところや熱に弱いテーブルや敷物などの上では使用しない  
火災や、テーブル・敷物の変色・変形の原因。



水道や熱源の近く、屋外や湿気の多い場所（部屋）、特殊な環境（硫化ガスの発生する場所、塩害などのおそれがある場所）で使用しない



壁や家具の近くでは使用しない  
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因。

製品の劣化を早め、製品寿命に悪影響を及ぼす可能性、および火災・感電のおそれ。

### 使用中／使用後について



本体が転倒、落下したときには、使用せず、点検を依頼する  
お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）まで連絡する。  
感電、火災の原因。



長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く  
絶縁劣化による感電・漏電・火災のおそれ。



本体に水やコーヒーをこぼさない  
万一、こぼしてしまった場合は、直ちに電源を切り、使用を中止する。その後、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）まで連絡する。  
ショート・感電のおそれ。



続けて使用するときには、本体が冷めるまで（約10分）待つ  
すぐに給水タンクに水を入れたり、動かしたりすると、蒸気が噴出してやけどをするおそれ。



給水タンクに水が入っていない状態でのカラだきはしない  
故障や火災の原因。



保温ポットをのせたまま本体を動かさない  
やけどやけがの原因。



電源を入れた後は、抽出が終わるまで、ふたを開けたり、保温ポットを台座から降ろしたり、本体を移動しない  
やけどや故障の原因。



本体を持ち運ぶ際は、フィルターホルダー先端のドリッパー部分を持たない  
やけどのおそれ。



保温ポットを直接火にかけたり、電子レンジで使わない  
破損してけがの原因。



専用の保温ポット以外は使用しない  
お湯が溢れて、やけどや故障の原因。

### お手入れについて



本体や電源コード／プラグを水に浸したり、水洗いをしない  
ショート・感電のおそれ。



本体のお手入れは電源プラグをコンセントから抜き、各部が冷えてから行う  
高温部に触れると、やけどのおそれ。

# 仕様

製品名称 / 型式番号		保温ポット付ドリップコーヒーマーカー / CMT560E-S
定格	電圧 / 周波数	交流 100V / 50/60Hz
	消費電力	1000W
温度ヒューズ		229℃
外形寸法 (保温ポット含む)		幅 220 × 奥行き 280 × 高さ 350 (mm)
質量 (保温ポット含む)		3.7kg (本体のみ : 2.8kg)
容量	給水タンク	最大 : 1.8L
	保温ポット	最大 : 1.8L
材質	本体 (表面)	ステンレススチール (SUS304)、ポリプロピレン
	本体 (内装) フィルターホルダー ゴールドフィルター取っ手 ゴールドフィルターフレーム 保温ポットふた 保温ポットハンドル	ポリプロピレン
	保温ポット	ステンレススチール (SUS304)
	ゴールドフィルター金属部	合金 (銅、錫、ニッケル) に 23.8K (金) 2重メッキ

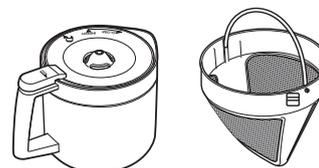
安全上の注意

仕様

## 別売品

- 保温ポット 【CMT560-TJ】
- エルフォ社 (スイス) 製ゴールドフィルター 【CMT560-GF】

お求め方法 ▶ お買い上げの販売店または弊社オンラインショップでお求めください。  
オンラインショップ URL ▶ <http://shop-casa-delonghi.com>

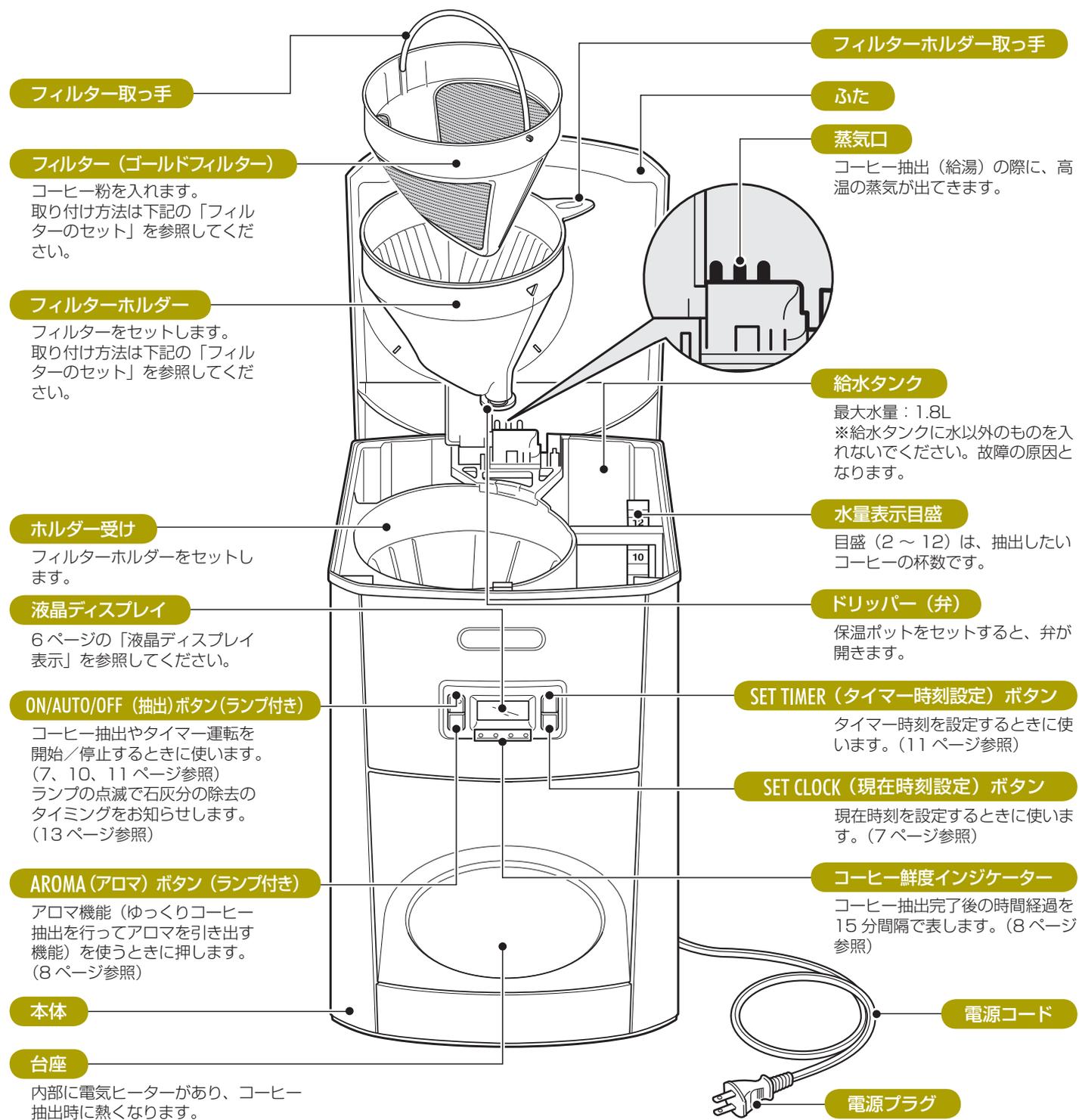


## この製品は欧州RoHS指令に適合した製品です。

欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合 (EU) による指令です。  
この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル (PBB)、ポリブロモジフェニルエーテル (PBDE) の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。

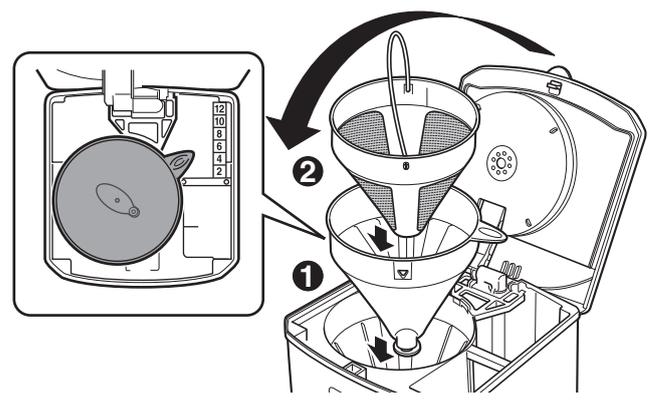


# 各部の名称とはたらき



## フィルターのセット

- ① 本体のふたを開け、ホルダー受けにフィルターホルダーをセットする
  - ホルダー受けに、フィルターホルダーが正しくしっかりとハマるようにセットします。(フィルターホルダー取っ手が水量表示目盛りを向くようにセットしてください。)
- ② フィルターホルダーにフィルターをセットし、ふたを閉める



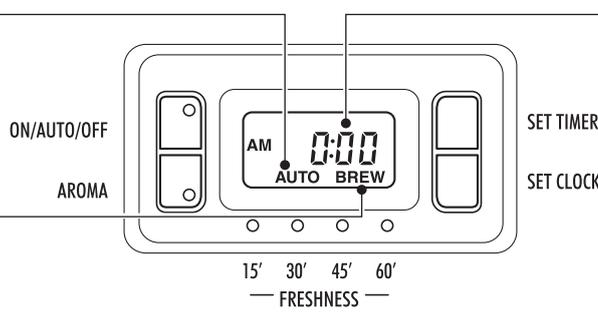
## 液晶ディスプレイの表示

### AUTO

ON/AUTO/OFF (抽出) ボタンを続けて2回押すと表示されます。ランプが点灯し、タイマー抽出に切り替わります。(11ページ参照)

### BREW

ON/AUTO/OFF (抽出) ボタンを1回押すと表示されます。ランプが点灯し、抽出が始まります。(10ページ参照)



### 現在時刻/タイマー時刻

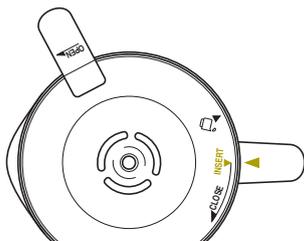
- タイマー時刻  
SET TIMER (タイマー時刻設定) ボタンで設定します。(11ページ参照)
- 現在時刻  
SET CLOCK (現在時刻設定) ボタンで設定します。(7ページ参照)

※ 現在時刻およびタイマー時刻の設定は、電源プラグをコンセントから抜くとリセットされます。

## 保温ポットの操作 (上から見た図)

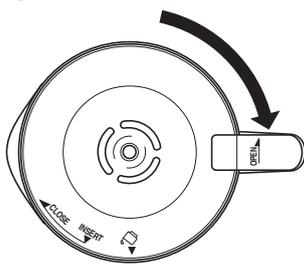
### ふたを閉める

#### ① ふたを乗せる



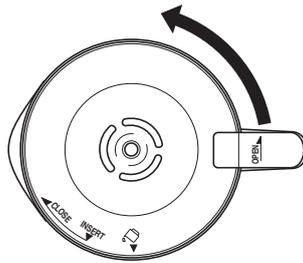
INSERTの▼とハンドルの▲を合わせるように乗せます。

#### ② CLOSEの方向 (時計回り) に回す

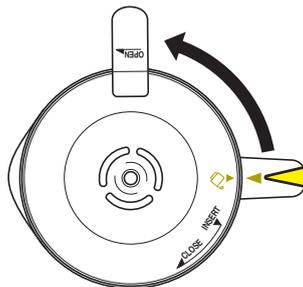


### コーヒーを注ぐ

#### ① OPENの方向 (反時計回り) に回す

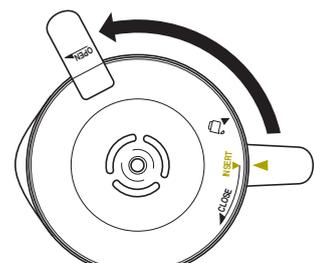


#### ② 注ぎ口の▼とハンドルの▲が合わさる位置で止める



### ふたをはずす (開ける)

#### ① OPENの方向 (反時計回り) に回す



INSERTの▼とハンドルの▲が合わさる位置を越えると、ふたがはずれます。

### 注意

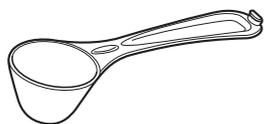
この位置より反時計回りにふたを回すと、コーヒーやお湯を注ぐ際に、ふたが外れてやけどの原因となります。

## 付属品

保温ポット  
(本体装着済)



計量スプーン  
(保温ポットに入っています)



## ゴールドフィルターに使用するコーヒー粉は…

中挽きから粗挽きのコーヒー粉を使用してください。中挽きよりも細かい粉を使用すると、多量のコーヒーを抽出する際に、溢れてくるおそれがあります。また、ゴールドフィルターは微細な穴からコーヒーを通す構造になっているため、粒度の細かいコーヒー粉がコーヒーに混じることがありますが、製品の不具合ではありません。気になる場合は、市販のペーパーフィルターをお使いください (サイズ 1 × 4、または 103)。

# 初めてお使いになる前に

初めて本製品をお使いになる前に、現在時刻の設定および内部洗浄を行います。

## 現在時刻の設定

### 1 電源プラグをコンセントに差し込む



### 2 SET CLOCK (現在時刻設定) ボタンを長押しする



- いったん指を放すと表示が点滅し、その後はボタンを1回押すごとに、時刻が1分ずつ進みます。
- ボタンをしばらく押し続けると、時刻が速く進みます。

現在の時刻を表示させます。



- 点滅中は設定を再開できます。

現在時刻の設定は、電源プラグをコンセントから抜くとリセットされます。

## 内部洗浄 (必ず行ってください)

初めてお使いになる場合や長期間使用しなかったときは、各パーツおよび水の通り道の洗浄 (内部洗浄) をしてください。コーヒー粉を入れずにお湯の抽出を2回程度繰り返すことで、内部洗浄が完了します。

### 1 給水タンクに水を入れる

水量表示目盛 12 の目盛まで水を入れてください。

※12 の目盛より多く水を入れしないでください。それ以上入れると、保温ポットからお湯が溢れます。

### 2 フィルターをセットする

詳細は、「フィルターのセット」(5 ページ) を参照してください。

### 3 保温ポットを、台座の中央に置く

※台座に置く前に、保温ポットのふたが正しく閉まっているか必ずご確認ください。

### 4 ON/AUTO/OFF (抽出) ボタンを押す

ボタンのランプが点灯し、液晶ディスプレイに**BREW**が表示され、しばらくすると給湯 (内部洗浄) が始まります。

3回ピーと音が鳴り、**BREW**表示が消えたら、抽出完了です。

### 5 ON/AUTO/OFF (抽出) ボタンを押し、保温ポットのお湯を捨てる

### 6 手順 1~5 を、もう一度行う

内部洗浄が完了しました。



給湯中には以下の行為を絶対に行わないでください。やけど・感電・けが・故障のおそれがあります。



子供に使わせたり、幼児の手の届くところで使用したりしない／蒸気口に顔や手を近づけない／本体を移動しない／ふたを開けない／保温ポットを動かさない／カラだきしない

# 知っておいていただきたいこと

## コーヒー粉の量

抽出杯数 1 杯につき、計量スプーンすりきり 1 杯 (約 7g) が目安です。

- コーヒーの種類、焙煎度、粒度などに応じて、お好みにより調節してください。
- ※ 12 杯 (最大量) より多く、コーヒー粉を入れないでください。

### アイスコーヒーを作るとき

アイスコーヒーを作る場合には、右表の倍量の粉をお使いください。ただし、粉の量が計量スプーン 12 杯 (最大量) を超えないようにしてください。

抽出杯数	給水タンクの水量 (水量表示目盛)	コーヒー粉の量 (計量スプーンの杯数)
2 杯	2	2 杯 (約 14g)
4 杯	4	4 杯 (約 28g)
6 杯	6	6 杯 (約 42g)
8 杯	8	8 杯 (約 56g)
10 杯	10	10 杯 (約 70g)
12 杯	12 (最大量)	12 杯 (約 84g = 最大量)

初めてお使いになる前に

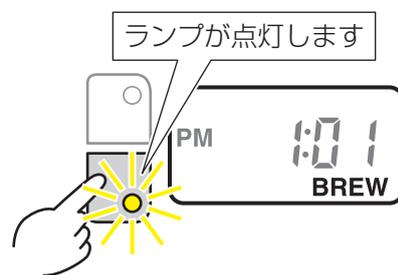
知っておいていただきたいこと

## アロマ機能を使う

抽出をゆっくりと行うことで、アロマが引き出され、こくのある風味豊かな味わいになります。

アロマ機能を使うときは、

- ① ON/AUTO/OFF (抽出) ボタンを押してランプを点灯させる
  - ② 抽出が始まる前に AROMA (アロマ) ボタンを押す  
(もう一度 AROMA (アロマ) ボタンを押すと、アロマ機能が解除になります)
- 本機能は少数杯 (2~4 杯) の抽出に適しています。  
(過度にコーヒー成分が抽出されるのを防ぐため)



### ヒント

アロマ機能を使うと、コーヒーの抽出をゆっくり行うため、コーヒー液の温度が通常の抽出時より低くなる場合があります。コーヒー液の温度を高めるために、事前に保温ポットを温めておくことをおすすめします。(9 ページ手順 1 参照)

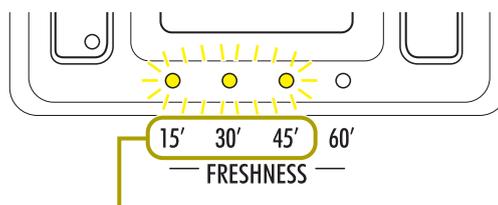
※タイマー抽出時には、保温ポットを事前に温めることはできません。

## コーヒー鮮度 (FRESHNESS) インジケーター

コーヒー抽出後の経過時 (鮮度) を 15 分間隔でランプの点灯と、音でお知らせします。

※最大 60 分までお知らせしますが、アロマや風味は時間とともに失われていきますので、なるべく早めにお召し上がりください。

例: 45 分以上経過した場合



コーヒー抽出後の経過時間  
15 分間隔でピーという音が鳴ります。

# コーヒーの抽出

初めてお使いになるときは、内部洗浄を行ってください。(7 ページ参照)

## 準備

### 水



新鮮な水道水（浄水器・清水器を通した水も含む）や軟水（硬度 90mg/L 以下）のミネラルウォーターが適しています。  
※硬水を使用すると石灰分が詰まりやすくなります。

### コーヒー粉

粗挽きから中挽きの新鮮なコーヒー粉を使用してください。

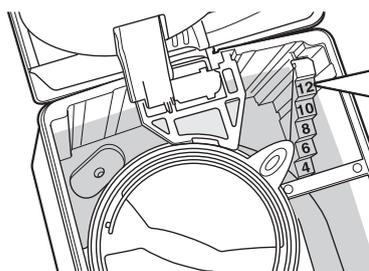
## 1 保温ポットに熱湯を入れ、ふたを閉めた状態で 3～4 分温める（ホットコーヒーの場合のみ）

- 保温ポットが温まったらお湯を捨ててください。
- これにより、抽出したコーヒーの熱が奪われにくくなり、保温効果も高まります。

### ヒント

7 ページの内部洗浄を行うことにより、同様の効果を得ることができます。

## 2 お好みの量の水を給水タンクに入れる



水量表示目盛を目安に水を入れてください

※水量表示目盛 12 の位置より多く水を入れないでください。それ以上入れると、保温ポットからコーヒーが溢れます。

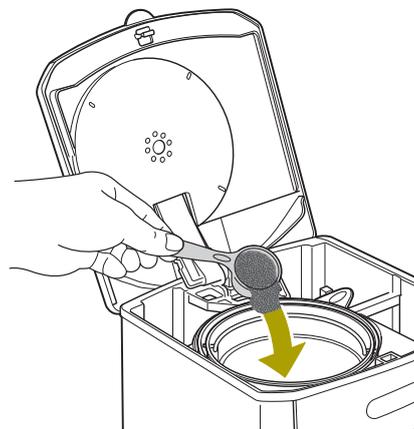
## 3 フィルターをセットする

詳細は、「フィルターのセット」(5 ページ)を参照してください。

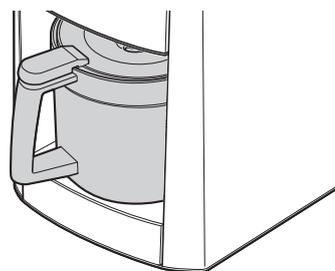
## 4 フィルターにコーヒー粉を入れる

付属の計量スプーンを使ってお好みの量のコーヒー粉を入れ、粉の上面をならし、ふたを閉じます。

- コーヒー粉の目安については、「コーヒー粉の量」(8 ページ)を参照してください。



## 5 保温ポットを、台座の中央に置く



※台座に置く前に、保温ポットのふたが正しく閉まっているか必ずご確認ください。

## 抽出

### 1 ON/AUTO/OFF (抽出) ボタンを1回押す



抽出が始まります。

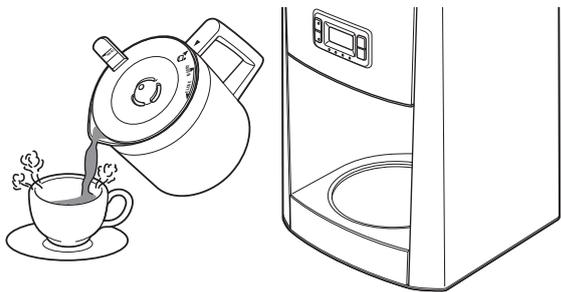


抽出が終わり、台座内部のヒーターの電源が自動的に切れます。

- 抽出を途中で中止するときは、ON/AUTO/OFF (抽出) ボタンを押して、抽出ランプを消灯させます。

### 2 保温ポットを降ろす

保温ポットを台座から降ろし、カップにコーヒーを注ぎます。



コーヒー抽出完了後の経過時間は、コーヒー鮮度 (FRESHNESS) インジケーターで表示されます。(8 ページ参照)

- 抽出後2時間経過すると、自動的に本体の電源が切れます。(台座内部のヒーターの電源は抽出直後に自動的に切れます)

### アイスコーヒーを作るとき

- 1 保温ポットのふたをはずし、氷を入れて、かきまぜながら冷やす (氷は抽出後に入れる)

※氷を入れすぎると、保温ポットのふたを閉めた際に、コーヒーが溢れることがあります。

- 2 保温ポットのふたをコーヒーを注げる位置まで閉めて、カップにアイスコーヒーを注ぐ (6 ページ参照)

### 3 ON/AUTO/OFF (抽出) ボタンを押し電源を切る

抽出ランプが消灯したことを確認してください。

- コーヒー鮮度 (FRESHNESS) インジケーターを表示させたい場合は、電源を切らないでください。

現在時刻およびタイマー時刻は、電源プラグをコンセントから抜くとリセットされます。



給湯中には以下の行為を絶対に行わないでください。やけど・感電・けが・故障のおそれがあります。



子供に使わせたり、幼児の手の届くところで使用したりしない／蒸気口に顔や手を近づけない／本体を移動しない／ふたを開けない／保温ポットを動かさない／カラだきしない

# タイマーを使用したコーヒー抽出 (タイマー抽出)

タイマー抽出には現在時刻が設定されている必要があります。正しく設定されているか確認してください。

●現在時刻の設定については、「現在時刻の設定」(7 ページ) を参照してください。

## 操作

**1** 9 ページの手順**2**~**5**の操作を行い、準備する。

**2** SET TIMER (タイマー時刻設定) ボタンを長押しする



数秒すると、時刻が進み始めます。

- いったん指を放すと表示が点滅し、その後はボタンを1回押しごとに、時刻が1分ずつ進みます。
- ボタンをしばらく押し続けると、時刻が速く進みます。

設定したい時刻を表示させます。



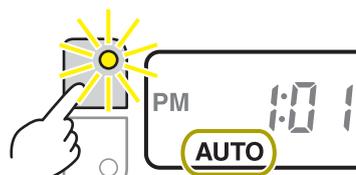
約5秒間ボタンを押さずにいると、点滅が終了し、時刻が設定されます。

設定が終わると、現在時刻の表示に戻ります。

- 点滅中は設定を再開できません。

タイマー時刻の設定は、電源プラグをコンセントから抜くとリセットされます。

**3** ON/AUTO/OFF (抽出) ボタンを続けて2回押す



ランプが点灯し、AUTOが表示されます。

タイマー予約の完了です。

設定時刻になると、抽出が始まります。

- 抽出の前に適温への予熱作業が行われるため、コーヒー抽出はタイマー設定時刻より数分遅れて始まります。
- タイマー予約を解除するには、ON/AUTO/OFF (抽出) ボタンを1回押ししてください。

**4** 抽出後、10 ページの手順**2**~**3**の操作を行い、電源を切る

# お手入れ

お手入れはこまめに!

いつも清潔な状態で使用するために、こまめにお手入れしましょう。



注意

- ❗ お手入れをするときは、電源プラグを抜き、本体が完全に冷めてから行ってください。
- 🚫 本体や電源コード/プラグを水に浸したり、水洗いしないでください。

## お手入れ時のご注意

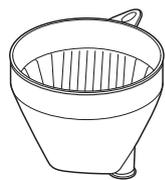
- 給水タンクに水は残さないでください。
- 保温ポットを水に浸さないでください。
- 研磨剤、ガラス磨き、シンナー、漂白剤、アルコールなどは使用しないでください。
- ワイヤール、たわし、金ブラシ、研磨スポンジなどは使用しないでください。
- 水洗いした部品は、乾かしてから本体に戻してください。
- 食器洗浄機や食器乾燥機、熱湯などは使わないでください。

## 水洗いできるものとできないもの

### 洗える(使うたびに洗う)



フィルター

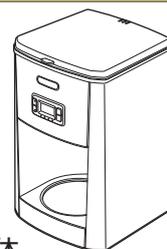


フィルターホルダー



保温ポット

### 洗えない(汚れるたびにお手入れする)



本体

電源コード/  
プラグ

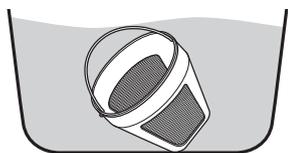
## 毎日のお手入れ

### フィルター、フィルターホルダー

使用後は、毎回、台所用食器用洗剤と柔らかいスポンジで洗い、水ですすいでください。



- フィルターホルダーは、ドリッパーを押し上げて水ですすいでください。
- フィルターがコーヒーの粉で目詰まりした場合は、少量の台所用食器用洗剤を入れたぬるま湯にしばらく浸けてから、水ですすいでください。



### 保温ポット

#### 外側

薄めた台所用食器用洗剤で洗い、乾いた布で水気をよく拭き取ります。

※保温ポットを水に浸さないでください。すき間に水がたまり、さびや変形の原因になります。

#### 内側

柄のついたスポンジブラシなどで、きれいに内面を洗ってから、乾燥させてください。

# お手入れ (つづき)

## 必要なときに行うお手入れ

### 本体表面 (拭く)

- 固く絞った濡れ布きんで拭きます。
- 汚れがひどい場合は、少量の台所用食器用洗剤をつけた布で拭いてから、濡れ布きんで洗剤をよく拭き取ってください。

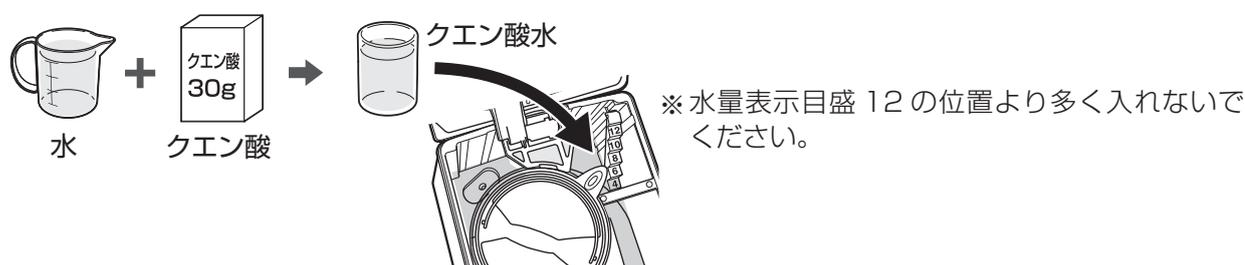


### 電源コード / プラグ (拭く)

乾いた布で拭いてください。

## 石灰分の除去

長く使っていると、内部の給湯管などに水中の石灰分が付着し、お湯の出が悪くなったり、コーヒーの抽出量が少なくなる場合があります。ON/AUTO/OFF (抽出) ボタンが点滅したら、下記の要領で石灰分の除去を行ってください。除石灰をお知らせするON/AUTO/OFF (抽出) ボタンランプの点滅は、約 300 回の抽出後に表示されます (※)。



- ① 約 500cc の水に、約 30g のクエン酸を溶かし、給水タンクに入れる
- ② 保温ポットを台座の中央に置き、ON/AUTO/OFF (抽出) ボタンを押す
- ③ 約 1 分後、ON/AUTO/OFF (抽出) ボタンを押し、給湯を止める
- ④ 15 分ほど待ち、ON/AUTO/OFF (抽出) ボタンを押し、給湯を再開する
- ⑤ ピーと音が鳴り、給湯が終わったら、ON/AUTO/OFF (抽出) ボタンを押して電源を切り、保温ポットの中のお湯を捨てる
- ⑥ 「内部洗浄」(7 ページ) の手順①～⑤の操作を計 4 回 (クエン酸水のおいが取れるまで) 行う。
  - 給水タンクには水だけを入れます。

※ 除石灰作業を行わずコーヒーを抽出した場合も ON/AUTO/OFF (抽出) ボタンランプの点滅状態は解除されます。長期間使用しているにもかかわらず、ランプが点滅しない場合は、上記の手順にしたがい除石灰作業を行った後、電源プラグを抜き差しします。これにより、抽出回数のカウントがリセットされます。

### ヒント クエン酸は…

クエン酸はお近くのスーパーや薬局でお買い求めください。  
また、市販のクエン酸 100% のポット洗浄剤もお使いいただけます。

# 故障かな？

使用中に異常が生じた場合は、直ちに使用を中止して、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、以下の点を確認してください。それでも正常に機能しないときは、お買い求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）までお問い合わせください。ご自分での分解・修理・改造はおやめください。

症 状 (状態)	考えられる原因	対処のしかた
1. コーヒーが抽出されない	電源プラグがコンセントに入っていない	電源プラグをコンセントに差し込む
	<b>BREW</b> が表示されていない	<b>ON/AUTO/OFF</b> (抽出) ボタンを押して、 <b>BREW</b> を表示させる
	給水タンクに水が入っていない	給水タンクに水を入れる
	フィルターホルダーの取り付けが不完全	ホルダー受けに正しい向きで取り付ける →5ページ参照
	ドリッパーにコーヒー粉が詰まっている	ドリッパーを押し上げて水ですすぐ →12ページ参照
	コーヒー粉が入っていない	フィルターにコーヒー粉を入れる
	保温ポットが台座の中央に乗っていない	保温ポットを台座の中央に置く
	保温ポットのふたが開いている	ふたを閉める
2. ON/AUTO/OFF (抽出) ボタンが点滅する	給湯管に石灰分が付着している	石灰分の除去をする →13ページ参照
3. コーヒーが保温ポットから溢れる	給水タンクの水量が最大量を超えている	最大水量（水量表示目盛 12）を超えないようにする
	保温ポットのふたが正しく閉まっていない	保温ポットのふたを正しく閉める →6ページ参照
	専用の保温ポットを使用していない	専用の保温ポットを使用する
	フィルターホルダー／フィルターをセットしていない	フィルターホルダー／フィルターをセットする →5ページ参照
4. コーヒーがホルダー受けや本体から溢れる	フィルターホルダーの取り付けが不完全	ホルダー受けにしっかりと取り付ける →5ページ参照
	ドリッパーにコーヒー粉が詰まっている	ドリッパーを押し上げて水洗いする →12ページ参照
	フィルターが目詰まりしている	少量の台所用食器用洗剤を入れたぬるま湯にしばらく浸けてから水ですすぐ →12ページ参照
	フィルターの取り付けが不完全	フィルターホルダーに、正しい向きでセットする →5ページ参照
	コーヒー粉の入れすぎ	コーヒー粉の最大量（計量スプーンすりきり 12 杯）を超えないようにする
	保温ポットが台座の中央に乗っていない	保温ポットを台座の中央に置く

お手入れ

故障かな？

